

湛水土中(加パ-)直播栽培特報 第2号

目指せ！1等比率90%以上継続!!～JA富山市米品質向上生産運動展開中～

- ◎ 苗立後は、**浅水管理**を徹底し、初期分けつを確保しましょう。
- ◎ 除草剤は、使用時期の範囲内で**遅れないように散布**しましょう。
- ◎ 5月下旬頃から茎数は急激に増加します。**溝掘りと中干しは遅れずに実施**しましょう。

1 出芽期以降の水管理

① 苗立後～6月上旬【浅水管理】

- ・ 出芽が揃ったら、**朝夕かん水・日中止め水で3cm前後の浅水管理**で生育を促進し、早期に分けつを確保しましょう。
- ・ 表層剥離の見られる場合は、2日程度の田干しを行い田面を落ち着かせましょう。

② 5月下旬～6月上旬【溝掘り】

- ・ 水管理を効率的に行うために、**6月上旬までに必ず溝掘り**を行いましょ。
- ・ 10～15条に1本の割合で溝を掘り、水尻としっかり連結しましょ。

③ 6月上旬【中干し開始】

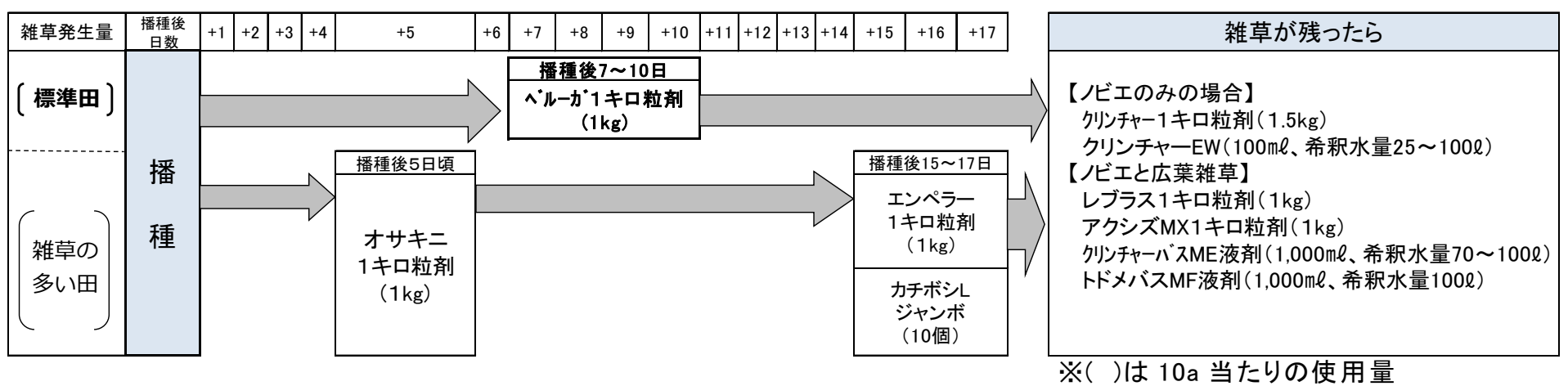
- ・ **茎数100本/m(6.5葉期頃)を確保した時点**(目安：5月初旬の播種で6月10日頃～)で**遅れずに中干しを開始**しましょ。
- ・ 土の表面に小さな亀裂が入り、田面が硬くなるまで田を干しましょ。



中干し時期の圃場

2 雑草防除

- ・ 田面の亀裂が大きい場合は、入水後、減水が落ち着いてから除草剤を散布しましょ。
- ・ 散布後5日間は確実に**湛水状態**を維持し、散布後7日間は**止水管理**(落水しない)を徹底しましょ。



3 葉いもち防除

- ・ 葉いもちの発生を防止するため、**予防粒剤を必ず散布**しましょ。

散布時期	薬剤名	使用量	備考
6月10～15日 (中干し後)	オリゼメート 1キロ粒剤	1kg/10a	散布後4～5日程度は「湛水状態」を保ち、7日間は落水や掛け流しをしない

令和4年春の農作業安全運動
4月1日～5月31日
「しめよう！シートベルト」



トラクター運転時にはシートベルト装着！
※昨年、全国でトラクターの転落・転倒事故が多発しました。

★富山市農協 HP 営農情報の提供★
<http://www.ja-toyamashi.or.jp/jouhou/>
検索！

JA 富山市 営農情報

検索